

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
令和6年度第1回 千葉県教育委員会会議(定例会)の内容について	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
オリンピック・パラリンピックを目指す ジュニアアスリートの紹介	3
そのイラスト、使っても大丈夫?	4
イベント情報 (生涯学習課・文化振興課・競技スポーツ振興課)	別冊

～生徒の多様な進路に応える～

令和6年4月18日【県立九十九里高等学校】

九十九里高等学校は、コミュニティ・スクールとして、地域とともに歩む学校づくりを進めています。地域の教育力を活用し、主体的に学習生活に取り組み、社会で通用する人間として調和のとれた生徒の育成を目指し、全日制の普通科では、2年生から5つのコースに分かれ、共通の授業の他に、コースごとに専門的な授業を受けることができます。

この日は、生活デザイン(服飾系)コースを学習している3年生の授業を見学しました。3年生に進級してから作り始めているブラウスは、夏の終わりごろの完成を目指しており、並行して浴衣も製作します。また家庭科被服製作技術検定2級の試験もあり、忙しい中にも充実した学校生活を過ごしていました。



分からない場合は、先生が丁寧に教えてくれます。

これまで製作した作品です。余った生地でも小物を製作します。

(本件に関するフォトニュースはこちら↓)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2024/240418.html>



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



毎年、初任者研修開講式の挨拶の中で「しなう心」の話をしています。私が高校卒業間近の最後の数学の授業で、先生が黒板に「しなう心」と書き、竹の話をしてくれました。

「竹は硬くて真っすぐに伸びるけれど風で折れることはない。風を受けたら、ぐうっとなって、風が止んだらまた真っすぐに伸びていく。君たちのこれからの人生には辛いこと苦しいことが、きっとある。そんな時に心がポキッと折れてしまわないように、竹のようにしなう心で生きていってほしい。」44年前のことで、数学の先生の名前は忘れてしまいましたが、この話は、ずっと心に残っています。

初任の先生方には、「子供たちが『しなう心』を身につけられるよう、竹に降り注ぐ柔らかい日差しのように指導していってほしい。」と話しています。そして先生自身も、心がポキッと折れてしまわないよう、どんな時も一人じゃないことを忘れずに、仕事に向き合ってほしいと、願っています。